

## 第2回 多摩市住替え・居住支援協議会 議事要旨

### I 日時・場所

日時：平成29年7月24日（月）午前10時～11時30分

場所：多摩市役所4階第一委員会室

### II 出席者 出席12人（欠席1人）

松本暢子会長、森田副会長、松本真澄委員、石坂委員、寺澤委員、村野委員、三富委員、浅井委員、青山委員、東島委員、萩原委員、飯島委員

### III 配布資料

- ・資料1 : 第1回会議結果への対応について
- ・資料2 : 平成29年度事業について
- ・資料3 : 居住支援について
- ・資料3-1 : 出張相談会 相談フロー（案）
- ・資料3-2 : 住みかえ相談会・福祉なんでも相談 相談票（案）
- ・資料3-3 : 住みかえ相談会チラシ（案）
- ・資料3-4 : 福祉なんでも相談チラシ（案）
- ・資料3-5 : 啓発用パンフレット（案）
- ・資料3-6 : 家主・不動産事業者向けアンケート（案）
- ・資料3-7 : 居住支援制度（福祉制度）（案）
- ・資料4 : 住替え支援について
- ・資料5 : 平成30年度の各事業の実施スケジュール（案）
- ・資料6 : 今後のスケジュール

### IV 議事

#### 1 第1回会議結果への対応について【資料1】

#### 2 平成29年度事業について【資料2】

##### (1) 居住支援について【資料3（3-1～7）】

<資料3-5について>

- ・概略を掲載したもので、パンフレットの情報量としては適当では。詳細については、セミナー等の場で不動産事業者等に説明する必要がある。

<資料3-6について>

- ・賃貸住宅の管理に関する質問を厚くする方向で修正する。引き続きご意見をいただきたい。

<資料3-7について>

- ・9月2日の相談会では、相談員や受付で活用できるようにする予定。

- ・将来的に市民への配布も考えていることから、パンフレットの作成目的等を目次の前に記載する。
- ・国や東京都、民間サービスについても追加掲載を検討していく。

## (2) 住替え支援について【資料4】

### <地域連携プロジェクトについて>

- ・大妻女子大学が地域貢献として進めているプロジェクト。内容が未定の部分もあるが、協議会としても協力していく。
- ・住替えについては、世代によりニーズが異なると考えられることから、子育て世代に絞って検討・ニーズ把握をするのは有効な取組では。
- ・若者に選んでもらい住み続けてもらうには、ソフトのみならず、ハード面の問題も大きい。市内は起伏が多く、それを活かして歩車分離としているメリットもあるが、段差解消のためのスロープ等の整備の検討し、アピールの材料としては。
- ・自ら住居の他に団地等に空き家を所有しているケースがあるとのこと。そういった市場化されていない物件の市場化や、市場に出ている若者に人気がない物件に付加価値を持たせ若者世代の受け皿とする取組が必要。

### <テーマ別連続講座について>

- ・平成30年度事業での実施のための意見出し（資料の例示以外）。
  - 女性向けのDIY講座など、女性目線のもの
  - ワークショップで、子育て向けの住宅を紹介しながら、実際の物件紹介まで行う。
  - 団地への体験入居や、団地の居室での講座（改修前後等）
  - 中古住宅での講座
  - 子育て世代もリノベーション等に興味がある
- ・難しいこと、目新しいことをやる必要はない。むしろどのように人を集めるか、特に住替え支援対象である市外に住んでいる方へのアピールが難しい。
- ・魅力実感ツアーのようなものは難しいが、小規模で数多く実施するなど、別のやり方を考えてもよいのでは。
- ・ニーズ調査では、既存地区とニュータウン地区等、地域による特性を考慮すべき。また、都営住宅の建替えも地域へのインパクトが大きいので、考慮が必要。
- ・これらの意見を踏まえ、10月開催予定の会議での決定に向けて調整を進める。

## 3 平成30年事業について【資料5】

- ・他自治体の居住支援協議会が実施している事業としては、自治体にもよるが、相談会、セミナーを実施しているようであるが、歴史が浅く、独自の取り組みは少ない。
- ・豊島区は少し進んだ取組をしていて、空き家バンクや、NPOが入って空き家を活用した居住支援を行うモデル事業も実施しているが、まだ本格稼動には至っていないようである。

- ・本協議会としても、まずは相談会を実施していくが、いずれは相談会で住宅が見つからなかった場合への対応を用意していく必要がある。

#### 4 今後のスケジュールについて【資料6】

スケジュールの説明

閉会